

## 平成 27 年度 ( 理 科 ) 授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意欲を高める指導の工夫</li> <li>・個に応じた指導の工夫</li> <li>・思考力と表現力を高める工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの学習過程を振り返らせ、科学的な概念ができていることを自ら意識できるようにして意欲を高めさせる。</li> <li>・机間指導とノートチェックで必要な生徒には支援を行う。</li> <li>・思考ボードを活用して、課題に対する「予想」「実験を通して理解したこと」「まとめ」という流れから、科学的思考力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートをファイリングさせ、以前の学習を振り返らせる。生徒に単元の概念図などを作成させる。</li> <li>・ノートを活用して、生徒の疑問や発展的な意見をくみ取る。</li> <li>・実験ワークシートの工夫を行う。発表の場を多く設定する。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意欲を高める指導の工夫</li> <li>・科学の有用性への意識向上</li> <li>・個に応じた指導の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察を通して、体験的・問題解決的な学習を重視する。</li> <li>・授業の導入やまとめの時間に学習内容が日常生活でどのように応用されているかを示し、有用感を高めさせる。</li> <li>・発展的な学習、補充的な学習を進んで取り入れていく。思考ボードを使った話し合いの場を多く作り、生徒の考える時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークを用いて、個々の学習状況と学力の把握状況を確認し、補充学習を行う。</li> <li>・グループ単位での話し合いから全体への発表活動を通して、言語活動の充実を図る。</li> <li>・記述式の問題や単元の複合的な演習を通して、系統立てた学習の理解を図る。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意欲を高める指導の工夫</li> <li>・個に応じた指導の工夫</li> <li>・生徒の発言を引き出すための工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的・問題解決的な学習を通して、常に問題提起を行い、個別もしくは班単位で発表の場を設け、発問に対して、自分の考えを表現できる機会を設ける。</li> <li>・知識の定着を図るため、問題演習を活用し、反復させる。</li> <li>・思考ボードで授業のねらいにあった発問をする。また発問を振り返り生徒が考えることを促し、発表につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項に関しても、簡単な演習実験などを通して学習を振り返らせる。</li> <li>・1, 2年生の復習および当該学年の問題演習を家庭学習で取り組ませ、定着を図る。</li> <li>・話した要点をノートに書き取り、文章として内容を理解し、言葉として発表できる力を育成する。</li> </ul>